

みんなのひろば

先日観光協会に東京から電話がかかってきました。雄武の宿についての問い合わせだったので、年配の方でしたので色々とお話を伺いました。昭和10年の生まれです。私の両親と同世代です。お父様が雄武測候所に勤務されており、その赴任に伴い小学校3年から中学卒業まで雄武町で暮らしていたそうです。測候所？あまり馴染みのない言葉かもしれませんが、気象庁の下部組織にあたる有人の測候所が雄武にもありました。調べてみると1941年（昭和16年）4月1日に雄武村役場内に設置され、2004年（平成16年）10月1日に無人化になるまで雄武の地で気象に関するデータを取り続けていたということなんです。

電話のお相手は、「東京暮らしが長い15歳までの多感な時を過ごした雄武での思い出が今でも忘れられずにいる。できれば元気なうちにもう一度訪問して小学校や中学校のあった場所や海や山に点在していた友人の家などを眺めてみたいのです」とおっしゃっていました。雄武を離れて半世紀以上経った現在と脳裏に焼き付いている過去はどこかで相見えることになるのでしょうか。とても興味があります。

古き良き時代という言葉があります。英語ではGood old days。昭和30年代に雄武の人口

地域おこし協力隊が行く！



地域おこし協力隊 佐藤 寧

は1万人を超えていました。それはそれは賑やかだったことでしょう。私が少年時代を過ごした昭和50年前後は7千人を超える人口でした。夏祭りの時には海の方まで屋台や出店が並び、お盆の頃には町のあちこちで盆踊りの太鼓が鳴り響いていました。中学校や高校からは野球部の掛け声や吹奏楽部の練習の音が夜の帳が落ちてからも聞こえていました。

「昔は良かった」という台詞は使い古された感もあるし、どことなく後ろ向きな感じがして私はあまり好きではありません。人口減は抗えない事実だし、でも、皆さんが暮らしやすい町になっただけでいいなら、切に願っています。

電話の向こうでは5月の雄武旅行をとても楽しみにしている男性の声が弾んでいました。日本のどこかに古き良き時代の雄武を知っている人がいることでしょう。そんな人たちの短い再訪を温かく迎えてほしいと思います。

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～



「スキーをしている自分」



澤田 一真くん



「野球をしている自分」



笠原 理功くん



「勉強をしている自分」



橋田 渉夢くん



「バドミントンをしている自分」



小林 樹生くん



「鉄琴をたたいている自分」



掛川原 唯さん

※学年はすべて5年生（3月現在）

Art Museum

小さな美術館 ～雄武小学校～

Everyone's dispensary

みんなの保健室

雪解けがすすみ、春らしい陽気となってきました。4月は入学や就職などで生活に変化のある時期ですね。

今月号から保健係では健康に関する情報や各種事業の紹介などを連載させていただくことになりました。多くの皆さまの目に触れ、少しでも相談しやすい保健係となるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

保健福祉課保健係は保健師4人、管理栄養士1人、事務職員1人の計6人体制です。妊婦さんや赤ちゃんから、働き盛りの方や高齢の方まで、老若男女を問わずあらゆる人を対象に、家庭訪問や健康相談を通して健康づくりのサポートをさせていただいています。

+健康の相談をしてみませんか？

ひとの活動の多くは、自身の「健康」の上に成り立っています。「自分は健康」と思っている人も、そうではない人も健康診査を定期的に受け、自身の健康や生活を見直してみたいか？

健診スケジュールは広報やホームページにも掲載していますので、ご確認願います。

保健師や管理栄養士との相談をご希望される方は、事前に日程を調整させていただきますので、電話等にて保健係までご連絡ください。



問保健福祉課保健係 ☎ 84-2023

Kids

わんぱくキッズ（若草保育所）～大きくなったら～



たけだ
そうたくん



でぐち
しゅんぎくん



いずみ
れおくん